

△ディナゲスト錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ジェノゲスト Dienogest 【分類】 子宮内膜症治療剤

【単位】 $\Delta 1\text{mg}/\text{錠}$

【常用量】 1日 2mg

【用法】 1日 2回に分け、月経周期 2～5 日目より経口投与

■治療に際しては妊娠していないことを確認し、必ず月経周期 2～5 日目より投与を開始。治療期間中は非ホルモン性の避妊をさせる

【透析患者への投与方法】 活性体の尿中排泄率が低いため減量の必要はないと考えられる (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 活性体の尿中排泄率が低いため減量の必要はないと考えられる (5)

【特徴】 19-ノルテストステロン誘導体で、第 4 世代プロゲステンに分類される。非臨床薬理試験においてアンドロゲン作用を示さず、プロゲステロン受容体に対する選択性の高い経口プロゲステンである。卵巣機能抑制作用と、子宮内膜症細胞に対する直接増殖抑制作用を示す。

【主な副作用・毒性】 貧血、アナフィラキシー様症状、不正出血、ほてり、頭痛、悪心など。

【モニターすべき項目】 投与中の腫瘍増大、定期的な画像診断や腫瘍マーカー等の検査、不正出血、必要に応じ細胞診等の病理学的検査の実施を考慮。定期的に臨床検査（血液検査、骨塩量検査等）、更年期障害様のうつ症状

【吸収】 食事の影響を受けない (1)

【F】 90.55% (1)

【tmax】 0.9～1.3hr (1)

【代謝】 主として CYP3A4 で代謝 (1) 代謝物はいずれも血漿中に検出されず、ヒトでの代謝物 (M1、M2、M3、M7、M8) に活性はない (1)

【排泄】 尿中に未変化体は検出されない (1) 尿中回収率 22.5～28.0% [po, 72hr まで] (1) 【CL/F】 3.19L/hr (1)

【t1/2】 7hr (1)

【蛋白結合率】 93.5～94.5% [主にアルブミン] (1)

【Vd/F】 30.04L/man (1)

【MW】 311.42

【透析性】 透析されにくいと推測される (5) 資料なし (1)

【O/W 係数】 2.15 [1-オクタノール/水系] (1)

【薬物動態】 線形動態 (Shin D, et al: Contraception 87: 750-5, 2013 PMID: 23218856)

【禁忌】 診断のつかない異常性器出血のある患者 [類似疾患 (悪性腫瘍等) のおそれがある]、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 (1)

【更新日】 20230306

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。